

学習指導要領		都立八王子北高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治の基本原則として、ホッブス、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。</li> <li>・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解し、大日本帝国憲法においては君主主権、さらにはファシズム的軍国主義が日本を支配していたことを理解する。</li> <li>・日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。例えば、国会が国権の最高機関で唯一の立法機関であり、衆議院・参議院の二院制を採用していることを知る。</li> <li>・法は社会生活における人間の行動を規律する社会規範の一つであり、国家による強制を伴うという点で、道徳や慣習とは異なることを知る。</li> <li>・基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて知る。</li> <li>・現代社会における権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを知る。</li> <li>・裁判員制度について理解を深める。</li> <li>・我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台に、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立八王子北高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の地王自治制度の特徴として、直接民主主義の考え方が取り入れられており、首長と議会が住民の代表としてそれぞれ独立に選ばれていることを知る。</li> <li>・民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であり、何より国民の主体的参加が重要であることを知る。</li> <li>・55年体制の成立。</li> <li>・ポストモダンの時代の政治の流動化と民主主義の衰退について理解する。</li> <li>・冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえて、世界の多極化や新興国の急速な経済発展が進む中で、国際社会の平和と安定のために、国際機関が様々な活動を展開していることを知る。</li> <li>・国際法に関する基本的な仕組みや統一的な立法機関が存在せず、当事国の同意以外、強制力を十分に持たない現状について知る。</li> <li>・領土問題や国際法の基本的仕組みについて知る。</li> <li>・国際連合の主要な機関の名称と役割について。</li> </ul> <p>我が国の安全保障が憲法9条に基づく非戦の誓いの中にあることを知り、その中で日米安全保障条約などの意義について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の国際紛争は、国家間の対立だけでなく、民族</li> <li>・宗教間の対立やテロ行為を端緒とするものなど、その要因が多様化しており、国際的な連携が必要であることを知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立八王子北高校 学カスタンダード
<p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>(2) ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>現代の経済 現代の経済</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る。</li> <li>・現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計・企業・政府のそれぞれの機能と役割について知る。</li> <li>・価格の自動調節作用について理解を深める。</li> <li>・寡占市場や独占市場における価格決定の在り方やグローバリズム化での資本移動自由化の影響などを知る。</li> <li>・政府・地方公共団体の行う財政の意義について理解する。特にケインズ経済学に基づいた財政政策の要点について政府の役割を理解する。</li> <li>・金融市場における直接金融と間接金融の違いや、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の役割について理解する。</li> <li>・現代経済の特徴について、ネオリベリズムの破壊的な効果について理解する。ネオリベリズム循環と呼ばれる悪性の景気循環について、バブルとバブル崩壊の交代によって、世界経済が荒廃していることを理解する。</li> <li>・経済活動の在り方と格差社会がもたらす貧困と福祉の関係について深く学ぶ。福祉をもっともっと充実させなければ、日本社会は荒廃してしまうことを理解する。</li> </ul>	

学習指導要領		都立八王子北高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p> <p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>(3) 現代日本の政治や経済の諸課題 現代社会の諸課題 ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。</li> <li>・ GATT、WTO、IMFなどの諸機関の役割について学ぶ。</li> <li>・ 南北問題、南南問題、そして国内の貧困層の増大について、資本主義の本質がこうした周辺を繰り出し、利潤を上げる構造を持ち続けることを理解する。</li> </ul> <p>グローバル化が進行すると国民国家や民主主義が劣化し、変容を迫られていることを理解する。</p> <p>我が国が少子高齢化社会を迎えて、様々な面で国民経済に大きな影響が出始めていることや、医療や年金など社会保障費の財政負担の増大が大きな問題になっていることを知る。</p> <p>地方及び農村の問題。過疎や過密が同時進行していることを理解する。</p> <p>雇用がブラック企業などに見られるように、被雇用者にとって条件が悪化していることを理解し、さらに派遣労働者など非正規雇用が2000万人を超えるような状態であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国における産業構造の変化について、急速な技術革新や情報化が進展するなど、経済のソフト化・サービス化が進み、ポストモダンの状態に移行しリスク社会になっていることを理解する。</li> <li>・ 農業と食糧問題について、日本の食糧自給率が他の先進国と比べて極めて低いことや、農業に対する様々な規制や補助金の問題、農業従事者の高齢化問題など、日本の農業をめぐる諸問題について知る。</li> </ul>	

学習指導要領	都立八王子北高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の気候変動やオゾン層の破壊、熱帯雨林の減少など、様々な問題が生じていることを知る。</li>   <li>人種・民族問題等について、それぞれの人種・民族はそれぞれの固有の文化や宗教などをもっており、その違いや経済格差が時として、相互の反感や差別と結びつき、人種・民族問題を発生させていることを知る。</li>   <li>・ODAやPKOの実績を踏まえて、日本の国際貢献の道を考え理解する。</li> </ul>